

第1回 大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会（摘録）

【日時】 令和5年6月27日（火） 15:00～17:05

【場所】 北別館4階 第1会議室

【出席者】 検討委員会委員 19人
教育委員会事務局 12人

【次第】 司会：学校再編推進室主査

1 開会

2 委嘱状交付

19人に委員委嘱

3 教育長挨拶

4 委員紹介

名簿順に委員紹介後、教育委員会事務局職員の自己紹介を行った。

5 会議の公開

学校再編推進室長から、大牟田市審議会等の設置運営及び公開に関する要綱第7条第1項の規定に基づき、原則公開とすることを説明。会議録は検討委員会の承認を受けた後、公開する。

6 議題

(1) 附属機関設置条例について

学校再編推進室長より説明。

(2) 委員長・副委員長選出

委員長に林委員を、副委員長に後藤委員とする推薦があり、全委員より了承された。

(3) 委員長・副委員長挨拶

発言者	発言内容
委員長	<p>改めまして、皆さんこんにちは。</p> <p>ただいま委員長の重任を仰せつかりました林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>先ほど谷本教育長のご挨拶にもありましたが、現在市では、適正規模・適正配置計画の第2期実施計画に沿って、令和9年の開校を目指して、中学校の再編の準備が進められております。</p> <p>また、すべての中学校区での小中一貫教育制度の導入も着実に進んでおり、学力向上や、全国で課題となっております不登校の解消にも、効果が上がっていると聞いております。</p> <p>さらには、松原中学校に夜間中学を設置する検討の準備も進んでおり、多様な学習機会の提供に期待をいたしているところです。</p> <p>今回、検討委員会では、この新たな教育の制度や取組みについて、その進捗を整理しながら考えていくことになると思います。</p> <p>大牟田市の未来を支える子どもたちにとって最善の方策となるよう、委員の皆さんのお知恵をお借りしながら、努めて参りたいと思います。</p> <p>どうかよろしくお願いいたします。</p>
副委員長	<p>副委員長を仰せつかりました後藤です。よろしくお願いいたします。</p> <p>学校へ行く子どもたちの姿を私たちが笑顔で送れるように、子どもたち</p>

	<p>も行きたい学校、来て欲しい学校というような形で、皆さんがそれぞれにたくさんの笑顔で帰ってくるような学校運営、学校経営ができたらと思います。</p> <p>それにはやはり私たちが努力して、大人の責任として、子どもたちを送り出したいと思っております。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p>
--	---

(4) 教育委員会諮問

教育長から林委員長に諮問書を手交。

(5) 検討委員会のスケジュール（案）

発言者	発言内容
委員長	<p>まず議題に入る前に、会議の公開・非公開について皆さんにお諮りをいたします。</p> <p>先ほど事務局から、会議の公開について、会議は原則として公開するものとする説明がありました。従いまして本日、この会議は原則公開を進めたいと思いますが、状況によっては、会議の途中であっても、公開・非公開の取り扱いを皆さんにお諮りすることもあります。</p> <p>このような取り扱いでよろしいでしょうか。</p>
全委員	意見なし
委員長	<p>ありがとうございます。そのように取り扱いをいたします。</p> <p>それでは議題に入ります。</p> <p>ただいま教育委員会から大牟田市立学校適正規模・適正配置計画の第2期実施計画に係る進捗整理、及び今後の学校再編整備について諮問を受けました。</p> <p>この諮問を受け、今後検討委員会で協議を行い、答申を行うわけですが、協議を進めるにあたって、まず検討委員会のスケジュール案について事務局から説明をお願いいたします。</p>
学校再編推進室長	【資料に基づき、検討委員会のスケジュール案を説明】
委員長	<p>ただいま事務局からスケジュール案について説明がありました。</p> <p>6月から8月まで3回の会議を行い、8月18日金曜日に答申を行うというスケジュール案です。</p> <p>ただいまの説明に対してご質問があれば、お伺いしたいと思います。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
全委員	意見なし。
委員長	ご異論がなければ、このスケジュールで行いたいと思います。

(6) 大牟田市における市立学校再編整備の経過について

(7) 第2期実施計画に係る進捗の整理について

発言者	発言内容
委員長	それでは、次に、議題（6）に進みたいと思います。

	<p>議題（６）、大牟田市における市立学校再編整備の経過について、関連して、議題（７）、第２期実施計画に係る進捗の整理について、この２点について、事務局から説明をお願いします。</p>
学校再編推進室長	<p>資料に基づき、これまでの市立学校再編整備の経過、第２期実施計画に係る進捗の整理について説明。</p>
委員長	<p>ただいま、詳細な説明をしていただきました。 少し整理をしたいと思います。５点ほどあったと思います。 １点目は、平成１８年４月に三里・三川小の再編によってみなと小学校が開校された。これに始まって、平成３０年４月の駛馬小学校まで実施計画に沿って小学校再編整備が着実に進められています。 ２点目としては、その間、中学校では、平成２７年４月に宅峰中学校、平成２９年４月に宮原中学校と、再編が進められているということです。 それから３点目が、さらに令和元年１１月の見直し後の第２期実施計画では、ここでは見直し前を前計画といいます。平成２６年策定の前計画が見直されて、現計画である第２期実施計画では、白光・歴木・田隈・橘・甘木中学校の５校を３校にする、しかも同時期にするのではなくて、２段階に分けて再編をするという計画に変更されています。 ４点目が、ここからが一番ポイントになると思います。松原中学校を継続して活用するということがポイントになるかと思っています。 そしてキーワードとしては、まちづくりの視点ということが先ほどから言葉として出てきました。今までの従来の適正規模・適正配置に加えて、このまちづくりの視点から、このような見直しが出てきたという説明ではなかったかと思っています。 それから５点目が、小学校の再編については、令和７年度に検討委員会を設置して検討を行うということだと思います。 なお、松原中学校の活用に関連して、１０ページの（６）の小中一貫教育と、この義務教育学校に関連しますが（７）の夜間中学については、この後の議題にございます。 次に、第２期実施計画に係る進捗の整理についてです。 これは先ほどの説明とかなりダブりますが、１点目が中友小学校と明治小学校の再編計画、これは平成２６年の前計画にございました。 これが、先ほどからの松原中学校を継続して活用することに変更になりましたので、松原中学校の通学区域が、大正小学校・中友小学校の通学区域全域となるので、もう必然的に中友小学校・明治小学校を再編する理由がなくなるということです。 それから２点目の白川小学校と平原小学校の再編です。前計画からの積み残しという形で残ってございましたけれども、平原小学校の小規模化の進捗が現在、７学級で推移しているようですので、小規模化の進捗についてはとどまっているということで、この再編については、次期の再編計画を作るときに考えるということでまとめることができるのではなかろうかと思っています。 それでは、ただいまの説明を受けて質問等があれば伺いたいと思いますが、（６）の再編の経過説明については、今回は聞き置くことにとどめたいと思います。 従いまして（７）の第２期実施計画に係る進捗の整備について、よくわからなかった点、あるいは確認をしたい点、ご意見等も含めて、皆さんと情報を共有し、共通認識をしていきたいと思っています。</p>

	<p>まず中友小学校・明治小学校の再編についてご質問等はございませんでしょうか。</p> <p>私から1点いいですか。キーワードで言いましたけれども、まちづくりの視点です。具体的にまちづくりの視点ということであれば、市の例えば総合計画の中の何かがあるとか、そういったことがあるんですか。</p>
委員	<p>私も同じようなことを考えながら伺ったんですが、基本方針は適正規模と適正配置というこの二つの軸だと思うんですけども、さらにそこにまちづくりの視点という別の視点が入ってくるのか、その辺の関係もあわせて伺えたらと思います。</p>
学校再編推進室長	<p>今回の第2期実施計画につきましては、適正規模・適正配置の視点に加え、まちづくりの視点ということで検討して計画を策定したところでございます。</p> <p>このまちづくりの視点は、大牟田市立地適正化計画や中心市街地活性化基本計画において、本市の都市づくりの方向性が示されています。市の中心部は、今後20年後の人口推移において、人口減少はなく人口密集が維持されるとしています。そのような地域には、人が流入するような学校を含む、まちを機能させる公共の施設が必要であり、松原中学校を残すことになりました。</p> <p>そのような考え方をまちづくりの視点として加え、当然、適正規模・適正配置の視点も踏まえながらの計画とすることとしております。</p>
委員長	<p>やはり地理的なものがあるんですね。</p> <p>松原中学校の位置を考えたときに、大牟田駅の西口一帯を、当初の拠点構想とかいろいろあるのでしょうかけれども、そういう意味の位置付けを松原中学校でやってみようということでもいいのでしょうか。</p>
学校再編推進室長	<p>人口が密集する地域である大牟田駅の西側地域の松原中学校区に、学校を含めた様々な都市機能を備えておくことが求められています。</p>
委員長	<p>都市機能を持たせるということですね。わかりました。</p> <p>他にないでしょうか。</p>
委員	<p>諮問の2つ目の白川小学校と平原小学校の再編に関連して、市外の者なので教えていただきたいんですけども、平原小学校のこの急激な児童数の減は、社宅か何かの影響ですか。議論の土台の情報を共有したいので教えていただければと思います。</p> <p>また、特に近年7学級ぎりぎり落ち着いたというのとはなぜなのか教えていただければと思います。</p>
学校再編推進室長	<p>平原小学校区については、社宅の状況は詳しくはわかりませんが、近年、小学校周辺の開発により宅地造成が進んでいます。それが人が増えている要因の1つではないかと思っております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>一番難しいところですね。都市計画とか推計を取るときになかなか悩ましいことがあるのでしょうかけれども、幸いにも予測より思った以上に増えてきている、現状維持ができているということですね。</p>

	そのほか、何かないでしょうか。 ここで休憩を入れたと思います。
	(休憩 10分)

(8) 義務教育学校の設置検討に向けた取組の概要

(9) 夜間中学の設置検討に向けた取組の概要

(10) 第2期実施計画に係る進捗の整理について

発言者	発言内容
委員長	<p>それでは再開します。次は3点ほどございます。</p> <p>まず議題の(8)義務教育学校の設置検討に向けた取組の概要、それから(9)夜間中学の設置検討に向けた取組の概要、(10)第2期実施計画に係る進捗の整理について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>この義務教育学校とそれから夜間中学という、本当に新たな取組みについてですので、今後の協議の柱になってくると思います。</p> <p>しっかりと押さえておきましょう。</p>
学校教育課長	<p>資料に基づき、義務教育学校の設置検討に向けた取組の概要、夜間中学の設置検討に向けた取組の概要、第2期実施計画に係る進捗の整理について説明。</p>
委員長	<p>ただいま、義務教育学校と夜間中学、そして第2期実施計画に係る進捗の整理について説明をしていただきました。</p> <p>少し整理をしたいと思いますが、その前に、2つだけ押さえておきたいというのがあります。</p> <p>まず、この義務教育学校の法的な位置付けですが、今日の金田義務教育学校の資料の4ページにこのように書いています。</p> <p>そもそも義務教育学校とは、平成28年施行の「改正学校教育法」で設置可能となった新たな学校種で、小学校、中学校と並ぶ3つ目の学校形態を指します、と書かれています。</p> <p>ここで法的に位置付けられたという意味ですが、これも説明でありましたけれども、今の学校教育法の第1条、1条校と言われてますが、この位置付けをきちっとされたということは、法による恩恵がありますということの意味してるのではなからうかと思えます。</p> <p>説明にもありましたけれども、校長、教員等の教職員定数の配当ですね、これは県とか市から来るのですが、これがきちっとあるということ、それから、先生方の給与費、施設整備についても国庫負担の補助がある、あるいは県からの補助があるということで、法的にきちっと位置付けられたために、こういった措置が受けられるという意味が1つあるかと思えます。</p> <p>それからもう1つ押さえておきたいのが、小中一貫教育制度の2つの形態についても説明がありましたけれども、1つは現在、市内の全中学校区で進められている、いわゆる併設型と、それからもう1つは、今回のこの義務教育学校というものです。</p> <p>この2つを押さえておきたいと思います。形態として2つありますということです。</p> <p>そこで、整理は、なかなかたくさん資料があり難しいのですが、4点ほどあったかと思えます。</p>

	<p>1つ目は組織が一体化している。説明にもありました1人の校長、そして1つの教職員組織、こういった組織形態になっている。</p> <p>それから、2つ目が、先ほども触れましたが、教職員定数上、効果的、効率的な業務が期待できる配当、配置になっていること。</p> <p>それから3点目が、小中一貫教育の期待される効果、これは併設型も義務教育学校も共通しておりますけれども、いわゆる学力向上とか、中1ギャップとか不登校の解消に成果が認められます、ということだったと思います。</p> <p>それから4点目が、松原中学校、大正小学校、中友小学校を再編して、小中一貫校、義務教育学校の設置について要望があっていること。</p> <p>この4点ぐらいでまとめることができるのではないかと考えております。</p> <p>それから、次に夜間中学についてです。</p> <p>第2期実施計画では、松原中学校に設置することを検討するとあります。</p> <p>市では、令和元年、第2期実施計画の策定の年なんですけれども、先ほどの説明にもありました、先進校視察をはじめとして、各種研修会とか、あるいはアンケートの実施とか、設置検討に向けた取組みを継続して実施されています。</p> <p>なお、先ほどから触れていますが、添田教授による地域説明会のご講演とか、あるいはシンポジウムの講師とか、また城之内先生の市民講演会のご講演と、これまで本当に充実した取組みがなされているというのが、率直な感想です。</p> <p>それから、令和元年に計画ができて、どういった取組みをして、今年令和5年ですか、何となく進み具合はどんなふうになってるんだろうか、どこで、どういった課題があるのだろうか、と逆に今感じてるところです。</p> <p>次に、第2期実施計画に係る進捗の整理です。</p> <p>義務教育学校については、大牟田市小中一貫教育の基本方針というのが市で作られております。今後小中一貫教育制度導入の点検評価をする中で、検討事項ということになっております。</p> <p>なお、松原中学校区の地域等からは松原中学校区への義務教育学校設置の要望が出されております。</p> <p>また、校舎等の老朽化による建替えの検討、これは松原中学校を活用するということですので、この老朽化による建替えの検討が当然出てくるだろうと思います。</p> <p>それから夜間中学について、松原中学校を継続するということが、夜間中学を設置することを検討するということが計画ではなっております。また、市民への通知あるいは周知、あるいはアンケート調査を実施しているというのが、今までの経過であったかと思えます。</p> <p>以上、本当にざっくりとした整理となりましたけれども、ただいまの事務局からの説明について、今後の協議の柱となりますので、よくわからなかった点、あるいは確認したいことをご意見等も含めて、ございましたらよろしく申し上げます。</p> <p>まず、義務教育学校についてご質問等があれば、お伺いしたいと思います。</p>
委員	<p>義務教育学校の件で、設置検討段階ということですが、令和4年に策定された大牟田市小中一貫教育基本方針でいきますと、併設型の小学校・中学校ということで今進められているかと思えます。</p> <p>今回義務教育学校ということで、またちょっと違った考え方というか新</p>

	<p>たな考え方になってくるのかなと思います。</p> <p>もちろん公立だと思っていますので、松原中学校と大正小学校、中友小学校の要望があつてというところもお聞きしましたが、この併設型の小学校・中学校というのは、現在の中学校の通学区域からの通学ということになるかと思しますので、今回新たな義務教育学校は、松原中学校、中友小学校・大正小学校の通学区域の児童生徒が対象になるのか、よその通学区域からも通えるというような学校に考えてあるのか、そういったところをお聞きできればと思います。</p>
学校教育 課長	<p>ご意見どうもありがとうございます。</p> <p>先ほど説明したとおり、松原中学校区で設置検討するということになりますので、今の制度上から言いますと、松原中学校の校区である大正小学校と中友小学校の子どもたちが松原中学校に通うことになっております。松原中学校を義務教育学校にした場合も、同じく大正小学校と中友小学校の子どもたちが通うということが原則になります。</p>
委員	<p>この併設型の小中一貫教育制度の話を各地域でされてるときに、よく勘違いされているのが、この義務教育型の学校になるんじゃないかと勘違いされてる方、そういった質問が多いかと思ひます。</p> <p>今回改めて松原中学校が義務教育学校になると、そっちのほうによかつたという意見が当然出てくると思ふんです。</p> <p>私も説明会に行った時に話を聞いて、あら何か違つたという、勝手な勘違いになるんでしょうけど、それを希望されてる方々も少なからずいらつしゃるのかなと思ひます。</p> <p>例えば小規模特認校のように、よその学校からも通えるとか、そういう考え方が今後できるのかというのを、あわせてお聞かせいただければと思ひます。</p>
学校教育 課長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>私も地域説明会で小中一貫教育制度について説明を行つてきました。実際のところ、1つの施設一体型の義務教育学校の要望が出たのは松原中学校区だけでございます。</p> <p>パブリックコメント等においても、他の校区からは、そういう意見は出てないところではす。</p> <p>一体型の義務教育学校にした場合は、再編した学校に通学することになるので、地元の小学校には通学できなくなり、通学距離が長くなるため、現小学校を残した併設型がいいというご意見もあつたところではす。</p> <p>今のところ、義務教育学校として意見が出ているところは、松原中学校校区だけでございましたので、松原中学校を対象に検討しているところではす。</p> <p>次の質問の小規模特認校制度は、大牟田市内では上内小学校と玉川小学校で導入しています。</p> <p>この小規模特認校制度を導入した理由といたしましては、複式学級を回避するためです。複式学級というのは、隣接する学年の合計児童数が少ない場合は、例えば2年生と3年生を同じ部屋で勉強するという学級のことです。この複式学級を回避するために、1年生から6年生まで全部1学級になるような学級編制をするための対応策でございます。今のところは、小規模特認校制度でどこの学校へもいけるという考えではなくて、原則、現行の校区で対応するというところで考えているところではす。</p>

委員長	<p>先ほど言いましたけど、小中一貫教育を推進し、実施していく形態として、併設型と義務教育学校というのがあるわけです。</p> <p>そして、松原中学校については、大正小学校がすぐ隣にあるわけで、そういった地域的なことから、他の校区でもやろうとすればもちろん小中一貫教育の推進はできるんですけども、いろんな条件を見たときに、松原中学校に隣接して大正小学校があることから、そういった意味で地域の方からの要望ももしかしたらあるのかもわかりませんが、その辺はどうなんですか。</p>
学校教育課長	<p>ご意見ありがとうございます。まさにそのとおりでございます。</p> <p>松原中学校と大正小学校は市道を挟んですぐ隣同士にあります。松原中学校の校舎があって、市道があってすぐ大正小学校の運動場があるということになりますので、義務教育学校として一体型にするのは、大牟田市内だけでいうと一番適切な場所であると考えているところです。</p> <p>それと松原中学校区が、10数年前から文科省の研究指定を受け、小学校・中学校が一緒に取り組むような授業や行事を継続されています。そのため、子どもたちも、先生方も小中一貫教育制度を導入する前から、同じような考え方で小学校・中学校が連携して取り組む教育をされており、そういう素地がありますので、大牟田市内では一番一体型とするのには適していると考え、検討事項としているところでございます。</p>
委員長	<p>コミュニティとしての繋がりとか、そういうのがいろいろあるでしょうからですね。</p> <p>松原中学校について、私も5、6年前でしたか、当時の校長先生からお話を聞く機会がありました。その時に校長先生のお話は、昭和39年ですね、オリンピックの年です。この年に、生徒の数が2,000人近くいて、学級数が40クラス以上ありました。これがピークだったそうです。</p> <p>それと、やはり行ってみると敷地が狭かったですね。すぐ隣に大正小学校が、今おっしゃったとおり、公道を挟んであります。その時にお話を聞いたのが、実は隣接した大正小学校があるから、地域の方から、今言ったような小中一貫校で、義務教育学校でという、その時はまだそこまでの言及ではなかったと思いますが、小中一貫でぜひやってくれないかという要望がありますと、当時の校長先生から私も聞いた記憶がよみがえりましたけれど。</p> <p>やはりそういったことで、ずっと以前から、コミュニティとかいろんな要素があって、要望があっているということですね。そういう要望があって、取組みをやっているんじゃないかと今思ったところです。</p> <p>その他ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>すみません。反対してるわけじゃないんですけども、ちょっと伺いたいの、一小一中で義務教育学校であれば別にいいのですが、複数の学校で9年、同じメンバーで顔を合わせ続けるというのが子どもの育ちにとって、もちろんプラスもあるでしょうけれども、何か1回キャラ付けされたキャラを9年間持ち越さなきゃいけないというしんどさを抱える子どももいないのかなみたいなことをちょっと思いました。</p> <p>別に反対するわけじゃなくて、そんなに9年間一緒にメンバーで顔を合わせるというのが、果たして本当に健全なのかっていうのは思いました。私は田舎の学校で、3つの小学校から1つの中学校だったので、6年間でできてきたキャラ付けや力関係が1回中学校でガラガラボンになったとい</p>

	<p>う経験があるんですけれども。</p> <p>大学で学生を見ていても、高校時代うまくいかなかったとしても大学でもう1回人間関係や、あるいは自分の見せ方を変えるみたいなことも、割と頑張ってきた思いがあるので。その9年間を一緒に過ごすことの、もちろんメリットもあるんですけども、ちょっと危うさというの聞いてみたいと思いました。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。貴重なご意見ですね。</p> <p>メリット・デメリットは、いろいろどういった教育制度、学校制度についてもつきまとうことで、いわゆる小規模校で走る場合もメリットデメリットがあるし。その辺は、委員どうですか。</p>
委員	<p>金田義務教育学校で初代校長をさせていただきました。</p> <p>金田義務教育学校の場合は、金田小学校、金田中学校と一小一中が一緒になって義務教育学校になったので、今おっしゃったようなデメリットはなかったんですけども、規模的には学年3クラスぐらいありましたので、多分クラス替え等で若干シャッフルされたと思います。なかなか固まったキャラクターというのは払拭するのは難しいかもしれないんですけど、それほど大きな問題点はなかったんじゃないかと認識しているところです。</p> <p>今回お聞きすると、多分同じぐらいの規模の二小一中になるということなので、クラス替え等によって若干その辺のところは緩和されるのかなと考えます。逆に小規模校で、ずっと9年間同じ仲間と10数人で過ごすということを考えれば、それほど影響はないのかなと考えております。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>また、次回にいろんな苦労話もあるでしょうから、そのときに委員の方から話を聞けばいいのではないかと思います。</p> <p>その他ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、夜間中学について何かご質問等ございませんか。</p>
委員	<p>意見というか、質問よりも要望に近いんですけども、まちづくりという視点で松原中学校を残すと、そこに夜間中学を設置するというので、ぜひお願いしたいのが、圏域をまたぐ、特に荒尾市であったり近隣の市町村からの受け入れをぜひ検討していただきたいと思いました。</p> <p>有明定住自立圏ですか、この地域の実態をどう維持していくかという発想のもとで夜間中学をぜひ考えていただいた方がいいのかなと思います。これは要望です。よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>事務局、いいですか。何かありますか。</p>
学校教育課長	<p>様々なところの夜間中学校の資料を見ると、そういうところもあるのは、私どもも存じております。</p> <p>そのために、今回、県の義務教育課からも来ていただいて、福岡県内の他市町村等も含めて、検討することも必要かなというところで考えております。</p>
委員	<p>先ほど委員がおっしゃられた件のことですが、実は香川県の三豊市は、在住・在勤以外の方も来られるようになっていきます。</p> <p>第2回目以降に具体的なお話が出ると思うのですがけれども、徳島県から</p>

	<p>県をまたいで来られている生徒さんもおられます。</p> <p>一方で、すべての夜間中学はそうではなくて、この4月から17都道府県44校あるのですけれども、やはりいまだに在住・在勤以外は受け入れられないというところもあります。</p> <p>しかしここで大事なことは、教育費というものが自治体の財政から出ていますので、やはり他の自治体からは、応分負担という形でいくらか負担いただく、そのためには覚書とか、他の自治体の調整等も必要になってくるのかなと思います。</p> <p>2回目以降にまた議論ができたらと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>そうですね。まだ設置の数は全国にも少ないし、福岡県でやろうと思えば、1つということになると、いろんな地域からぜひ行きたいという声もあるでしょう。</p> <p>そういう面では、2回目以降で論議をしていただければと思います。</p>

(11) 議事のまとめ、次回の進め方

発言者	発言内容
委員長	<p>(11)の議事のまとめ、次回の進め方についてに入ります。</p> <p>本日は教育委員会から諮問を受けまして、まず1点目、検討委員会のスケジュール案、それから2点目、大牟田市における市立学校再編整備の経過について、3点目として、第2期実施計画に係る進捗の整理について、これは小学校の再編関係と、それから義務教育学校と夜間中学関係、それから4点目が義務教育学校の設置検討に向けた取組の概要、5点目は夜間中学の設置検討に向けた取組の概要、まずその5点について事務局から説明を受け、質疑等を中心に協議を行いました。</p> <p>本日はそれぞれ委員の皆さんからいろいろな観点からの貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。本日のこの協議によって皆さんと情報共有しながら、共通認識を図ることができたと思っております。</p> <p>次回は、諮問事項にございますが、今後の学校再編整備の考え方について検討を行いたいと思います。</p> <p>次回の会議開催について事務局案、何かございますでしょうか。</p>
学校再編推進室長	<p>冒頭、説明いたしましたけれども、6ページのスケジュールに則りまして、次回の第2回会議は、7月18日の午後3時から、この場所で開催したいと思っております。</p>
委員長	<p>次回の会議については、7月18日午後3時から、場所は今回と同じくこの場所で開催ということです。皆さんよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他、全体を通して皆さんから何かございませんでしょうか。</p>
委員	<p>今日はたくさんの資料を準備していただき、わかりやすく説明していただいたと思います。</p> <p>第1回目の会議ということで、これから再編整備についての議論も深ま</p>

	<p>っていくのではないかなと思います。</p> <p>特に、義務教育学校と夜間中学についての説明をたくさん詳しくしていただきました。この場に、委員の方々がおそろいでございますので、ぜひ第2回の会議では、その内容を詳しく、先ほど一端だけお聞かせいただいて、委員の皆様もたくさん質問されたいと思っておりますので、ぜひ詳しくお話をさせていただく機会を設けていただけたらと思います。</p> <p>それから、先ほどからまちづくりの視点というのがございましたけれども、この再編整備というのはどうしても、学校の再編整備と言いながら、統廃合という、スクラップのイメージが付きまといまいますが、実際にはまちづくりというか、これから新たなものを作り上げていくという、ビルドの部分ですね、新たな教育創造という部分を打ち出していくときじゃないかなとも思います。</p> <p>なかなかこの義務教育学校も夜間中学も、明るい話とかメリットばかりではないと思いますし、私も高等学校の教育しか詳しく知りませんが、ぜひその点を詳しくお聞かせいただいて、この大牟田の教育風土といえますか、おっしゃっていただいた有明圏域全体に広がりを見せるような、そういう教育の取組みができたらいかなと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私も同感でございます、なかなか初めての取組みでイメージがしづらい部分もあると思いますので、ぜひお話をいただけたらと思っております。</p> <p>事務局そのように調整していただいていいでしょうか。</p>
学校再編推進室長	<p>先生方にご相談させていただき、第2回の会議では委員の先生方に説明をお願いします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。よろしく申し上げます。</p> <p>その他皆さんから何かございませんでしょうか。</p> <p>他にご意見なければ、これで本日の審議を終了いたします。</p>

7 閉会